

中国では、高校を卒業して大学進学を志望する場合、複数の試験を受験する必要があります。どの試験を受験するか、また受験の資格があるかは、高校までの学歴によって異なります。

全国統一の大学入学試験（成人大学を除く）は「高考」と呼ばれています。この高考を受験するには、高校卒業試験に相当する「会考」を受験し、合格しなければなりません。

以下、中国の一般的な高校生が受験する順にしたがって、各試験を紹介します。

◇会考 [フウェイ・カオ]

中国の高校生が、大学の入学試験である「高考」を受験するには、あらかじめ高校卒業試験に相当する「高中学業水平考試（会考）」（高校学業レベル試験）と呼ばれる試験に合格し、普通高卒の卒業資格を取得しなければいけません。普通高卒の学生は、この試験に合格して卒業証書が取得すれば、高考を受験することができます。

受験科目は、国語、数学、政治、歴史、外国語、地理、物理、化学、生物の9科目です。

普通高卒の卒業生ではない人（中職の卒業生、社会人など）が高考を受験するには、普通高卒と同等の学力を有することを証明する「学力証書」を取得する必要があります。これは会考を受験して合格成績を修めると申請することができます。

ただし、軍・警察系の一部の学校には普通高卒を卒業していないと進学できません（中職の卒業生を対象とした募集枠である「対口招生」と呼ばれる制度を利用することは可能です）。

◇会考の種類 合格性試験と選択性試験 [考試]

会考には「合格性試験」と「選択性試験」の2つがあり、それぞれ以下のような違いがあります。

(1) 試験の目的

合格性試験はすべての高校生を対象としており、普通高卒レベルの学力があるかどうかを判定するための試験です。試験の結果は高考を受ける場合に必要になります。また試験の結果は「自主招生」（高考ではなく各学校の独自採用枠）における学生採

用の際に参考とされます。

選択性試験は高考の選択科目を受験するために受ける試験であり、6種類の科目から3種類を選択します。例えば高考の選択科目で歴史、地理、思想政治を選択する場合、事前にこれら3科目の選択性試験を受けなければ高考の選択科目試験を受験できません。

(2) 試験科目

合格性試験は国が定めた教育プランに含まれるすべての科目が試験科目となります。

選択性試験の試験科目は、学生自ら「物理と歴史」のうち1つ、「思想政治、地理、化学、生物」のうち2つの計3科目を選びます。

(3) 成績の表示

合格性試験の成績は「合格」または「不合格」で表示されます。

選択性試験の成績は、試験科目のうち物理と歴史は点数、思想政治、地理、化学、生物は等級によって表示されます。

(4) 試験の日時と受験資格

合格性試験は普通高卒の学生が3年間の在校期間中に、各科目の必修単位を取得した後を受験します。不合格となった場合は再試験を受けることができます。

選択性試験は6月に行われ、当該年度の夏季高考（12P参照）で基礎科目を受験済みの学生が参加します。

●合格性試験・選択性試験

	合格性試験	選択性試験
試験の目的	高校レベルの学力の判定	高考の選択科目受験のため
受験資格	普通高卒の学生	当該年度の夏季高考の基礎科目を受験済みの学生
試験科目	すべての科目	物理と歴史のうち1つ、思想政治・地理・化学・生物のうち2つ、の計3科目
成績の表示	合否のみ	物理と歴史は点数で、思想政治・地理・化学・生物は等級で表示
受験の時期	高校在学中の必修単位を取得後	6月